

結城蔵美館 で結城の文化に触れよう

本蔵と袖蔵の2棟で構成する観光スポット。「結城の過去と未来の結び目」をテーマとし、歴史資料や現代の美術作品を展示する。結城でカルチャーを発信する施設のひとつ。



結城市のこれまでの貴重な史料が展示されている



御手札の繪を生で見られるスポット

住 結城市結城1330 車 JR結城駅より徒歩13分
開 9:00~17:00 休 30台

Walk history

れきしをぐるり

城下町を歴史とともに巡る旅

結城家 Yuuki-Family

城下町を築いた結城の名家

城下町結城の歴史は鎌倉時代、初代当主の結城朝光によって幕を開けました。源頼朝の乳母を母に持つ朝光は、頼朝より結城の地を与えられ、以後約400年間にわたって統治。結城家は代々養蚕産業を育成し、結城紬と城下町の基礎を築きました。

17代晴朝は豊臣秀吉から18代秀康(徳川家康の次男)を養子に迎えます。徳川家康が天下をとると、秀康は越前へ転封を命じられ、越前松平家となって継承されていきます。



初代当主結城朝光の肖像画(市指定文化財・称名寺)。幕政にも参加し、約400年に渡る結城家統治の礎を築いた。

称名寺 (しょうみょうじ)

初代朝光が親鸞の高弟・真仏に開基させた寺院。京都の二条家より譲り受けた山門や親鸞の直筆といわれる「往生要集」、朝光肖像画を所蔵している。

初代当主が建立した寺



住 結城市結城152 車 JR結城駅より徒歩8分 休 30台



18代秀康の肖像画(福井県・運正寺)。徳川家康の次男であり、関ヶ原の戦い時には宇都宮に陣を構え、伊達政宗とともに上杉景勝をけん制した。また、現在の城下町を整備した。

孝顕寺 (こうけんじ)

15代政朝が開基し、永正寺といわれていたが、18代秀康が現在の地に再建したことで孝顕寺に改称。結城藩主である水野家の菩提寺でもある。



三門には結城家、水野家、松平家の家紋がある

住 結城市結城461 車 JR結城駅より徒歩8分 休 60台

弘経寺 (くぎょうじ)

18代秀康が早逝した長女松姫を供養するために創建した。与謝無村が滞在し、一連の襷絵を残した寺院としても知られる。



浄土宗関東18檀林の寺院

住 結城市結城1591 車 JR結城駅より徒歩15分 休 80台

水野家 Mizuno-Family

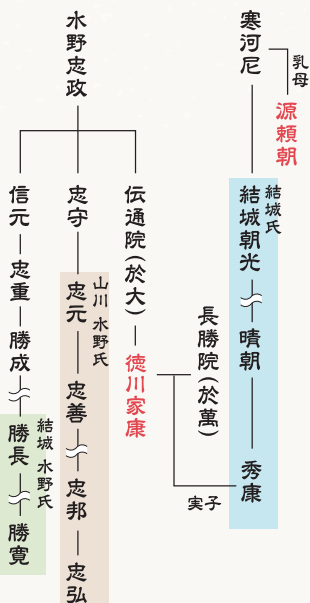
結城城の再建と 華やいだ江戸文化

江戸時代に結城地方を統治したのは、幕府(幕府直轄地)、徳川家と縁の深い結城水野家、山川水野家です。水野忠元は、1615年から1635年まで山川の地などを治め初代山川水野家となりました。山川水野家の11代水野忠邦は天保の改革を行いました。

水野勝長は、1700年に能登より結城藩に転封。初代結城水野家となりました。勝長は結城城を再築し、城下町を復活しました。

その後、結城は結城水野家のもと幕末まで約170年間、鬼怒川の水運や街道による江戸との物資の集散地として繁栄を極めました。

結城を統治した歴代の大名たち。実はその家々が源頼朝や徳川家康といった歴史的人物と関わりが深かった。



聡敏神社 (そうびんじんじや)

結城城跡歴史公園の一角に建つ。祀られている水野勝成公は、水野家当主水野忠重の息子であり、徳川家康の下で活躍した武将としても知られる。



住 結城市結城2486-1(城跡歴史公園内)
車 JR結城駅より車で5分
休 50台